

TCFD提言^(※)の開示基礎項目である「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」ごとの気候変動に対する取組状況は以下の通りです。

(※)金融安定理事会(FSB)によって設立された気候関連財務情報開示タスクフォースの提言。気候変動に起因する財務的影響の分析、開示が推奨されている。

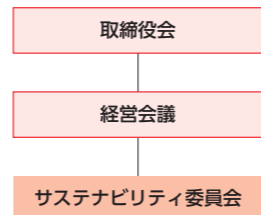
ガバナンス

TCFD提言の推奨開示内容

気候関連のリスクと機会に関する組織のガバナンスについて

八十二銀行の取組状況

- ・「八十二銀行グループ環境方針」を制定し、頭取を委員長とする「サステナビリティ委員会」において、環境への取組みの進捗等を評価し、気候変動対応を経営戦略へと反映する体制としています。
- ・持続可能な地域社会の実現のため、経営会議において気候変動への対応を含む「SDGs重点テーマ」を策定しています。年度初めに策定されたSDGs活動方針に基づき、本部各々が年間の取組みを策定し、統括部署が進捗状況を管理して経営へ報告しています。
- ・環境関連目標を掲げ、進捗状況等は経営会議・取締役会に報告しています。



戦略

TCFD提言の推奨開示内容

気候関連のリスクと機会がもたらす組織の事業・戦略・財務計画への実際の影響と潜在的な影響について

八十二銀行の取組状況

全体

- ・サステナビリティに関する施策の統括部署を新設したほか、「八十二銀行グループ サステナブル投融資方針」を新たに策定し、脱炭素社会への移行に向けた本業の取組みをグループ一体で推進する体制を強化しています。
- ・年度環境方針策定時に、気候関連のリスクと機会を特定しています。
- ・気候関連のリスクと機会、事業活動への影響を以下の通り認識し、適切にリスクを管理するとともに、気候変動の緩和・適応に貢献する金融商品・サービスの提供を積極的に推進していきます。

リスク

- ・気候関連リスクとして、移行リスクと物理的リスクを認識しています。
- ・移行リスクとしては、脱炭素社会への移行過程において、気候関連の政策強化等の影響を受けるお客さまに対する信用リスクが増加する可能性を認識しています。
- ・物理的リスクとしては、気候変動に起因する自然災害によって、お客さまの事業停滞に伴う業績悪化や担保価値の毀損等により、信用リスクが増加する可能性を認識しています。

機会

- ・再生可能エネルギー事業へのファイナンスやお客さまの脱炭素社会への移行を支援するコンサルティング提供等のビジネス機会の増加を想定しています。(2018年度から2020年度にかけて累計約2,427億円の環境関連投融資^{*}を実行)
- ・企業としての適切な取組みと開示による社会的評価の向上を想定しています。

*環境関連投融資:再エネ・省エネ設備購入資金や環境配慮型建物建設資金、グリーンボンド等への投融資

炭素関連資産

- ・当行の与信残高に占める炭素関連資産(電力およびエネルギー向けエクスポージャー)の割合は1.7%です(2021年3月末時点)。

シナリオ分析

移行リスク	・「エネルギー」、「自動車・運輸」の2セクターに対し、脱炭素社会への移行に向けた政策強化の一例として、炭素税が導入された場合の影響を分析しました。 ・分析の結果、2050年までに、累積で約50~60億円の与信費用の増加見込みとなりました。
物理的リスク	・4℃シナリオ(IPCCのRCP8.5シナリオ)等を参考に、長野県内千曲川流域において、気候変動に起因する大規模水害が発生した場合のお客さまの業績悪化および担保価値の毀損の影響を分析しました。 ・分析の結果、最大で約60億円の与信費用の増加見込みとなりました。

・上記分析結果は一定の前提を置いた試算であることから、引き続きシナリオ分析等の向上および精緻化に取り組みます

リスク管理

TCFD提言の推奨開示内容

組織における気候関連リスクの特定・評価・管理方法について

八十二銀行の取組状況

- ・気候関連リスクを重要なリスクのひとつと位置づけ、気候変動がお客さまに与える影響を信用リスク管理の枠組みで対応しています。
- ・気候変動にネガティブな影響を与える可能性が高い特定セクターとして、「八十二銀行グループ サステナブル投融資方針」において、石炭火力発電事業、森林伐採事業に対する取組方針を策定しています。

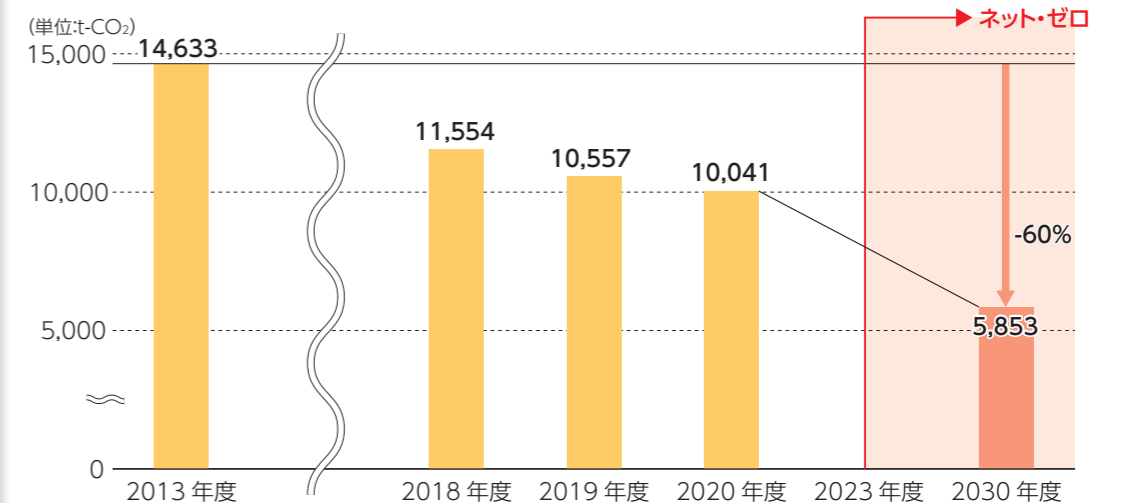
指標と目標

TCFD提言の推奨開示内容

気候関連のリスクと機会を評価・管理する際に使用する指標と目標について

- ・「八十二銀行グループ サステナブル投融資方針」を策定し、石炭火力発電の新規プロジェクトには投融資はしない方針としました。
- ・2021年度~2030年度までの10年間で、累計1.5兆円(うち環境分野で1兆円)のサステナブルファイナンスの実行を目指します。
- ・2023年度までに当行温室効果ガス排出量を「ネット・ゼロ」とします。
- ・2030年度までに当行温室効果ガス排出量を2013年度比60%削減します。

温室効果ガス排出量の推移表



【注】事業用施設・車両から発生する温室効果ガス(CO₂)排出量を、太陽光発電システムや環境配慮型設備の導入などを通じて、2030年度までに2013年度比60%削減します。
また、上記の排出量削減の取組みに加えて、2023年度には再生可能エネルギーの活用などにより、ネット・ゼロとします。

■ Topics 八十二銀行グループ サステナブル投融資方針の策定

気候変動問題、少子高齢化問題などの環境・社会的課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献するため、「八十二銀行グループ サステナブル投融資^(※)方針」を策定しました。

八十二銀行グループ サステナブル投融資方針
<https://www.82bank.co.jp/about/esg/sustainable.html>



*環境問題や社会課題を解決し持続可能な社会の実現に資する投融資